

新潟大学の環境への取組み



新潟大学長
環境最高責任者
下條文武

環境方針

新潟大学は、広大な緑と日本海に面した潤い豊かな立地性に恵まれ地域住民と一体となり発展してきました。しかし今日の大量生産、大量消費、大量廃棄を基調とする社会経済活動や生活様式が定着した中で、地球規模の環境破壊が叫ばれています。この創造性豊かな環境を未来に引継ぐため……6つの基本方針を掲げ「地域共生型の環境調和」を基本理念とし……叡智を結集します。これは、「新潟大学の理念・目標」と双幹をなすものです。

環境報告書の全文を
ホームページで公開しています

<http://www.niigata-u.ac.jp>

新潟大学環境報告書

検索

ブラウザにURLを直接入力。

又は、Yahoo!やGoogle等の検索窓に「新潟大学環境報告書」と入力すると呼び出せます。



特集 1 知の地域還元
2 学生の環境活動

特集1：知の地域還元

- 1-1 環境対策における大学の知の地域還元
- 1-2 臨海実験所の環境に関連した教育研究活動
- 1-3 佐渡島の地域共同研究



特集2：学生の環境活動

- 2-1 環境系サークルひまわり
- 2-2 学生ボランティア本部「ボランち。」
- 2-3 にいがた環境プロジェクト「ROLE」



温室効果ガス排出量推移



佐渡の空にトキが舞うのを夢見て

新潟大学では、これまで6年間トキ野生復帰プロジェクトを推進してきました。この中で、約120枚の棚田ビオトープ「キセン城」の環境再生事業を中心に、里山・棚田生態系の解析、里山を支える現代的な社会環境のあり方の提案、地域住民向けの環境教育などの成果を地道に積み上げてきました。昨年9月25日について試験放鳥が行われ、トキプロジェクトも新しいフェーズに突入しました。地域にとっても大学にとっても本番はこれからです。2009年度より、新潟大学はプロジェクト体制を大幅に刷新し、より強力なチーム「超域朱鷺プロジェクト」として、佐渡島に世界に誇れる環境再生モデルを構築するために一層の努力を行ってまいります。



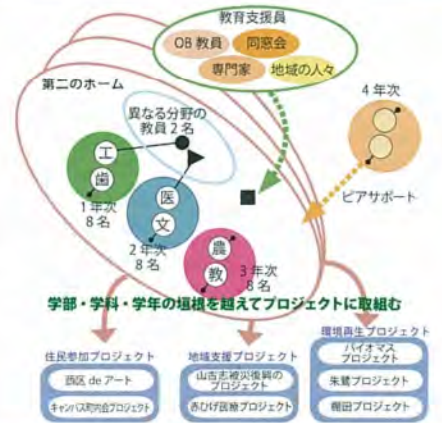
真冬に佐渡市の水田で採餌を行う野生トキ (撮影: 本間航介)

ダブルホーム制

新潟大学では、学生がさまざまな場面で困難な問題に直面しても適切に対処できるように、「ダブルホーム制による、いきいき学生支援」の活動に取り組んでいます。

第一のホームは、学生が入学し専門教育を受ける学部・学科です。このホームは、従来から専門教育の場として優れた教育機能を持っていました。しかし、学部・学科を横断して幅広く学生と教職員がつながりをもつような場はありませんでした。そこで、文系、理系、医歯系の学生が専門の壁を取り払って自由に参加できる第二のホームを設けました。

第二のホームでは、本学の教員が地域と連携して取り組んでいるプロジェクトに参加します。ホームではメンバーと話し合いながら多くの経験をするることによって、心を鍛え、自らのライフキャリアに生かすことを目的としています。



環境系サークル ひまわり

リユース市の様子

卒業生から不要になった家具・家電を引き取り、新入生や在校生に格安で提供する企画です。



にいがた環境プロジェクト

『ROLE』

弁当箱と割り箸のリサイクルを行っています

回収した割り箸はパーティクルボードなどにリサイクルされました

『新潟県環境賞』を受賞しました!

キャンパスクリーンデー

月に1回。教職員と学生が一緒になってキャンパスをきれいに。4月には地域住民の方もボランティアで参加して下さっています。

学生の皆さんへ

大学でも、家庭でも 3R を実行しよう

新入生に向けたリユース市が先輩達の手で行われています

- ・ Reduce (使わない・減らす)
- ・ Reuse (再利用する)
- ・ Recycle (再資源とする)



美しいキャンパスは自分たちの手で

キャンパスクリーンデーなどに積極的に参加しましょう

無駄なエネルギーは 徹底排除

ケチではなくマナーです (人として、地球人として)

今年1回目は
4月24日(金)
年に3回ほど地域
に出て活動します



地球 を守ることは、自分たち を守ること!